

肘部管症候群に対する神経伝導検査を受けられた患者さんへ

当院では、肘部管症候群に対する神経伝導検査について臨床研究を実施しております。この研究のために新たな負担はございません。自身またはご家族がこの研究の対象にあたると思われる方で、ご質問がある場合、担当者までご連絡ください。なお、この研究は大曲厚生医療センター倫理審査委員会にて承認され、許可を得ています。

【この研究の目的】

肘部管症候群という病気は、肘部分での尺骨神経の絞扼によりもたらされる病気です。神経伝導検査が診断の一助となりますが、神経伝導検査で異常が検出されない肘部管症候群も認めます。そこで、大曲厚生医療センター脳神経内科では、肘部管症候群を疑われ神経伝導検査を行われた患者様を対象に、神経伝導検査の結果と神経学的所見（診察の結果）をはじめとした臨床情報を収集し、神経伝導検査の結果の特徴を検討いたします。

本研究を行うことで肘部管症候群の診断方法の選択肢が増える事につながる事が期待できます。

【この研究の対象】

2022年4月以降に当院で神経伝導検査を受けられた中で、肘部管症候群の疑いのある方。

【この研究の方法】

下記の情報を解析します。

【取得する情報】

基本情報(年齢、生年月日、性別、身長、体重、診断名、既往歴、家族歴など)、臨床経過、臨床症状、診察所見(理学所見、神経学的所見など)、治療内容と効果、検査結果(血液一般、生化学、神経伝導検査など)、画像所見(CT、MRI、X線など)等

【研究実施期間】

研究実施許可日 ～ 西暦 2030年 3月 31日

【この研究の予想される効果と起こるかもしれない副作用及び不利益について】

神経伝導検査の施行にあたっては通常、健康上問題はありません。万が一、検査の途中で気分が悪くなった場合は、すぐに検査を中止いたしますので、お申し出ください。

【参加と撤回について】

この研究に診療の情報を使ってほしくないとのことがある場合も、遠慮なくご連絡く

ださい。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、削除すべき情報が特定できない場合や、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【研究を中止する場合について】

研究責任者の判断により、研究を中止しなければならない何らかの事情が発生した場合には、この研究を中止する場合があります。なお、研究中止後もこの研究に関するお問い合わせ等には誠意をもって対応します。

【研究に関する情報公開の方法】

この研究の最終的な結果は学会や学術雑誌で公表される予定ですが、結果は研究に参加いただいた患者さんの情報をまとめた形で報告されますので、お名前など個人を特定できる情報が公開されることはありません。

【この研究に関する情報の提供について】

ご希望によりこの研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、お申し出ください。

【個人情報の取り扱いについて】

神経伝導検査の結果やカルテに含まれる情報をこの研究に使用する際には、お名前の代わりに研究用の番号などを付けて取り扱い、厳重に保管します。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、個人が特定できる情報を使用することはありません。

【試料・情報の保管及び廃棄の方法】

基本的に、通常の診療記録と同様に保管および廃棄されます。

【この研究にかかる資金源及び利益相反について】

研究遂行にあたって、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反は存在しません。

【経済的負担、謝礼について】

この研究は、通常の保険診療内で行われるため、診療費は加入されている健康保険を使用し、健康保険で定められている自己負担分を負担していただきます。よって、この研究

にご参加いただくにあたって、費用負担が通常の診療より増えることはありません。なお、ご参加いただくにあたっての謝礼等はありません。

【研究の実施体制について】

この研究は以下の体制で実施します。

研究責任者：大曲厚生医療センター 脳神経内科 科長 鎌田 幸子

研究分担者：大曲厚生医療センター 脳神経内科 医長 舟坂 穂希

【お問い合わせ窓口】

担当医師：大曲厚生医療センター 脳神経内科 舟坂 穂希

電話番号：0187-63-2111

【知的財産権の帰属について】

この研究から成果が得られ、知的財産権が生じる可能性があります。その権利は、研究者及び研究参加施設に帰属します。研究に参加していただいた患者さんに、この権利が生じることはありません。

作成日：2024 年 6 月 3 日